

岡 広 監 第 7 号
平成 2 5 年 7 月 1 1 日

岡山県後期高齢者医療広域連合長 黒 田 晋 様

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 池 上 進

平成 2 4 年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見
について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 9 2 条において準用する同法第 2 3 3 条
第 2 項の規定により審査に付された平成 2 4 年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計
歳入歳出決算及び証書類その他関係書類を審査した結果、別紙のとおりその意見を提出
する。

平成 24 年度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

目 次

各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象	1
第2 審査の期日	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
1 決算の総括	2
(1) 決算規模	2
(2) 決算収支	3
2 一般会計	4
(1) 歳入	5
(2) 歳出	8
3 後期高齢者医療特別会計	11
(1) 歳入	12
(2) 歳出	16
4 財産に関する調書	19
5 むすび	20

(注) 文中の比率、各表の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。
このため計数が一致しない場合がある。

平成24年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成24年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

平成24年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
(決算附属書類)

平成24年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

平成24年度各会計実質収支に関する調書

平成24年度財産に関する調書

第2 審査の期日

平成25年7月11日

第3 審査の方法

審査に当たっては、平成24年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

また、予算の執行については、要望及び検討事項はあるが、おおむね適正であると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

1 決算の総括

(1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,382億614万6,010円	(予算現額に対する収入歩合	100.00%)
一般会計	6,113万6,396円	(同	100.00%)
特別会計	2,381億4,500万9,614円	(同	100.00%)
歳出	2,381億1,413万3,959円	(予算現額に対する執行率	99.97%)
一般会計	5,926万2,193円	(同	96.93%)
特別会計	2,380億5,487万1,766円	(同	99.97%)
歳入歳出差引額	9,201万2,051円		
一般会計	187万4,203円		
特別会計	9,013万7,848円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度 増、減(△)額	決算額	対前年度 増、減(△)額
22	224,144,934,731円	7,284,143,291円	223,971,687,936円	7,354,355,751円
23	228,837,955,373円	4,693,020,642円	228,734,923,133円	4,763,235,197円
24	238,206,146,010円	9,368,190,637円	238,114,133,959円	9,379,210,826円

(2) 決算収支

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 9,201 万 2,051 円の余剰金が生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 1,102 万 189 円の赤字となっている。

決算収支の推移

区 分		24年度	23年度	22年度
歳入総額 A		円	円	円
	一般会計	61,136,396	58,114,971	67,679,028
	特別会計	238,145,009,614	228,779,840,402	224,077,255,703
	計	238,206,146,010	228,837,955,373	224,144,934,731
歳出総額 B	一般会計	59,262,193	57,004,285	65,953,938
	特別会計	238,054,871,766	228,677,918,848	223,905,733,998
	計	238,114,133,959	228,734,923,133	223,971,687,936
歳入歳出差引額 (A-B) C	一般会計	1,874,203	1,110,686	1,725,090
	特別会計	90,137,848	101,921,554	171,521,705
	計	92,012,051	103,032,240	173,246,795
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	0	0	1,034,250
	計	0	0	1,034,250
実質収支 (C-D) E	一般会計	1,874,203	1,110,686	1,725,090
	特別会計	90,137,848	101,921,554	170,487,455
	計	92,012,051	103,032,240	172,212,545
単年度収支 E-前年度のE	一般会計	763,517	△614,404	△459,910
	特別会計	△11,783,706	△68,565,901	△69,891,150
	計	△11,020,189	△69,180,305	△70,351,060

2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入 6,113 万 6,396 円(予算現額に対する収入歩合 100.00%)、歳出 5,926 万 2,193 円(予算現額に対する執行率 96.93%)、歳入歳出差引額 187 万 4,203 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
23	58,114,971円	△9,564,057円	57,004,285円	△8,949,653円
24	61,136,396円	3,021,425円	59,262,193円	2,257,908円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 187 万 4,203 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 76 万 3,517 円の黒字となっている。

一般会計決算収支の推移

区 分	24年度	23年度
歳入総額 A	61,136,396円	58,114,971円
歳出総額 B	59,262,193円	57,004,285円
歳入歳出差引額 (A-B) C	1,874,203円	1,110,686円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	1,874,203円	1,110,686円
単年度収支 E-前年度のE	763,517円	△614,404円

(1) 歳入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳入決算状況

区 分		24年度 A	23年度 B	増、減(△) C(A-B)
予算現額		61,138,000円	58,416,000円	2,722,000円
調定額		61,136,396円	58,114,971円	3,021,425円
収入 済額	金額	61,136,396円	58,114,971円	3,021,425円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	99.48%	0.52%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収入未済額		0円	0円	0円
不納欠損額		0円	0円	0円

予算現額 6,113 万 8,000 円に対し、収入済額は 6,113 万 6,396 円で、前年度に比べ 302 万 1,425 円の増加となっている。

予算現額に対する収入歩合は 100.00%で、前年度に比べ 0.52%上がっている。

調定額に対する収納率は 100.00%で、前年度と同率となっている。

イ 財源別収入状況

財源別収入状況は、次表のとおりである。

一般会計一般財源及び特定財源年度別比較表

財源別	区分	24年度		23年度		増、減(△)	
		決算額	構成比	決算額	構成比	金額	構成比
一般財源	分担金及び 負担金	円 58,970,000	% 96.45	円 54,534,000	% 93.84	円 4,436,000	% 2.61
	繰越金	1,110,686	1.82	1,725,090	2.97	△614,404	△ 1.15
	諸収入	90,461	0.15	23,064	0.04	67,397	0.11
	繰入金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	小計	60,171,147	98.42	56,282,154	96.85	3,888,993	1.57
特定財源	国庫支出金	469,200	0.77	903,800	1.55	△434,600	△ 0.78
	県支出金	469,200	0.77	901,500	1.55	△432,300	△ 0.78
	財産収入	26,849	0.04	27,517	0.05	△668	△ 0.01
	小計	965,249	1.58	1,832,817	3.15	△867,568	△ 1.57
合	計	61,136,396	100.00	58,114,971	100.00	3,021,425	0.00

一般財源は 6,017 万 1,147 円で、前年度に比べ 388 万 8,993 円の増加となっている。歳入総額に占める割合は 98.42%で、前年度に比べ 1.57 ポイント上がっている。

特定財源は 96 万 5,249 円で、前年度に比べ 86 万 7,568 円の減少となっている。歳入総額に占める割合は 1.58%で、前年度に比べ 1.57 ポイント減少している。

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 分担金及び負担金

予算現額 5,897 万円に対し、収入済額は 5,897 万円で、同額となっている。
前年度に比べ事務費負担金が 443 万 6,000 円増加している。

項別状況

項	24年度			23年度			増、減(△) A-B
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
負担金	円 58,970,000	円 58,970,000	% 100.00	円 54,534,000	円 54,534,000	% 100.00	円 4,436,000

第2款 国庫支出金

予算現額 47 万円に対し、収入済額は 46 万 9,200 円で、800 円の減少となっている。
前年度に比べ保険料不均一賦課国庫負担金が 43 万 4,600 円減少している。

項別状況

項	24年度			23年度			増、減(△) A-B
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
国庫負担金	円 470,000	円 469,200	% 99.83	円 904,000	円 903,800	% 99.98	円 △434,600

第3款 県支出金

予算現額 47 万円に対し、収入済額は 46 万 9,200 円で、800 円の減少となっている。
前年度に比べ保険料不均一賦課県負担金が 43 万 2,300 円減少している

項別状況

項	24年度			23年度			増、減(△) A-B
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
県負担金	円 470,000	円 469,200	% 99.83	円 904,000	円 901,500	% 99.72	円 △432,300

第4款 財産収入

予算現額 2万 7,000 円に対し、収入済額は 2万 6,849 円で、151 円の減少となっている。

前年度に比べ財政調整基金利子が 668 円減少している。

項別状況

項	24年度			23年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
財産運用収入	円 27,000	円 26,849	% 99.44	円 28,000	円 27,517	% 98.28	円 △668

第5款 繰越金

予算現額 111 万円に対し、収入済額は 111 万 686 円で、686 円の増加となっている。
前年度に比べ前年度繰越金が 61 万 4,404 円減少している。

項別状況

項	24年度			23年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
繰越金	円 1,110,000	円 1,110,686	% 100.06	円 1,725,000	円 1,725,090	% 100.01	円 △614,404

第6款 諸収入

予算現額 9 万 1,000 円に対し、収入済額は 9 万 461 円で、539 円の減少となっている。

預金利子の収入済額は 1,047 円で、前年度に比べ 61 円の増加となっている。

雑入の収入済額は 8 万 9,414 円で、前年度に比べ 6 万 7,336 円の増加となっている。

項別状況

項	24年度			23年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
預金利子	円 1,000	円 1,047	% 104.70	円 1,000	円 986	% 98.60	円 61
雑入	90,000	89,414	99.35	21,000	22,078	105.13	67,336
計	91,000	90,461	99.41	22,000	23,064	104.84	67,397

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳出決算状況

区 分		24年度 A	23年度 B	増、減(△) C(A-B)
予算現額		61,138,000円	58,416,000円	2,722,000円
支出済額		59,262,193円	57,004,285円	2,257,908円
執行率		96.93%	97.58%	△0.65%
翌年度繰越額	継続費逡次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不用額		1,875,807円	1,411,715円	464,092円

予算現額 6,113 万 8,000 円に対し、支出済額は 5,926 万 2,193 円で、前年度に比べ 225 万 7,908 円の増加となっている。

予算現額に対する執行率は 96.93%となっている。

翌年度繰越額は 0 円である。

また、不用額は 187 万 5,807 円で、前年度に比べ 46 万 4,092 円の増加となっている。

不用額の主なものは、職員手当等、役務費、負担金補助及び交付金等で、経費の縮減などによるものである。

イ 用途別決算状況

歳出決算額を「人件費」及び「物件費その他の経費」に分類すると、人件費は 115 万 4,527 円で、前年度に比べ 29 万 8,734 円の増加となっており、歳出総額に占める割合は 1.95%である。

物件費その他の経費は 5,810 万 7,666 円で、前年度に比べ 195 万 9,174 円の増加となっており、歳出総額に占める割合は 98.05%である。

一般会計用途別決算状況

年度	区分	人 件 費		物件費その他の経費	
		金 額	構成比	金 額	構成比
23		855,793円	1.50%	56,148,492円	98.50%
24		1,154,527円	1.95%	58,107,666円	98.05%

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

予算現額 75 万 1,000 円に対し、支出済額は 65 万 6,022 円で、執行率 87.35%である。
前年度に比べ 1 万 4,890 円の減少となっている。

項 別 状 況

項	24年度					23年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
議 会 費	円 751,000	円 656,022	% 87.35	円 0	円 94,978	円 670,912	円 △14,890

第2款 総務費

予算減額 5,894 万 7,000 円に対し、支出済額は 5,766 万 7,771 円で、執行率は 97.83%である。

前年度に比べ 313 万 9,698 円の増加となっている。

これは、機器更改に伴う電算機器借上料及び派遣職員の異動による派遣職員負担金の増加等が主な要因である。

項 別 状 況

項	24年度					23年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
総務管理費	円 58,784,000	円 57,564,455	% 97.93	円 0	円 1,219,545	円 54,439,725	円 3,124,730
選挙費	86,000	79,316	92.23	0	6,684	72,348	6,968
監査委員費	77,000	24,000	31.17	0	53,000	16,000	8,000
計	58,947,000	57,667,771	97.83	0	1,279,229	54,528,073	3,139,698
説明	◎主な対前年度増減の状況 (項 総務管理費) (目 一般管理費) 職員手当等の増 27万 6,728円 (4.3倍) 電算委託料の減 △48万 6,675円 (△52.82%) 電算機器借上料の増 85万 6,503円 (50.63%) 備品購入費の増 74万 199円 (21.2倍) 職員派遣負担金の増 205万 3,618円 (8.05%)						

第3款 民生費

予算現額 94 万円に対し、支出済額は 93 万 8,400 円で、執行率は 99.83%である。
前年度に比べ保険料不均一賦課繰出金が 86 万 6,900 円減少している。

項 別 状 況

項	24年度					23年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
社会福祉費	円 940,000	円 938,400	% 99.83	円 0	円 1,600	円 1,805,300	円 △866,900

第4款 予備費

支出済額は 0 円で、前年度と同額となっている。

項 別 状 況

項	24年度					23年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
予備費	円 500,000	円 0	% —	円 0	円 500,000	円 0	円 0

3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,381 億 4,500 万 9,614 円（予算現額に対する収入歩合 100.00%）、歳出 2,380 億 5,487 万 1,766 円（予算現額に対する執行率 99.97%）、歳入歳出差引額 9,013 万 7,848 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
23	228,779,840,402円	4,702,584,699円	228,677,918,848円	4,772,184,850円
24	238,145,009,614円	9,365,169,212円	238,054,871,766円	9,376,952,918円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 9,013 万 7,848 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 1,178 万 3,706 円の赤字となっている。

後期高齢者医療特別会計決算収支の推移

区 分	24年度	23年度
歳入総額 A	238,145,009,614円	228,779,840,402円
歳出総額 B	238,054,871,766円	228,677,918,848円
歳入歳出差引額 (A-B) C	90,137,848円	101,921,554円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	90,137,848円	101,921,554円
単年度収支 E-前年度のE	△11,783,706円	△68,565,901円

(1) 歳入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳入決算状況

区 分	24年度 A	23年度 B	増、減(△) C(A-B)
予算現額	238,135,159,000円	228,730,902,250円	9,404,256,750円
調定額	238,145,560,321円	228,779,840,402円	9,365,719,919円
収入済額	238,145,009,614円	228,779,840,402円	9,365,169,212円
収入済額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	100.02%	△0.02%
調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収入未済額	550,707円	0円	550,707円
不納欠損額	0円	0円	0円

予算現額 2,381 億 3,515 万 9,000 円に対し、収入済額は 2,381 億 4,500 万 9,614 円で、前年度に比べ 93 億 6,516 万 9,212 円の増加となっている。

予算現額に対する収入歩合は 100.00%で、前年度に比べ 0.02%下がっている。

調定額に対する収納率は 100.00%となっているが、55 万 707 円の収入未済額が生じている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	予算現額 A	収入済額 B	収入歩合 $\frac{B}{A}$	予算現額に比し 増、減(△) B-A
	円	円	%	円
市町村支出金	39,809,787,000	39,895,129,212	100.21	85,342,212
うち保険料等負担金	20,345,014,000	20,430,356,070	100.42	85,342,070
うち療養給付費負担金	18,773,409,000	18,773,409,142	100.00	142
国庫支出金	80,128,102,000	80,128,102,960	100.00	960
うち療養給付費等負担金	57,343,151,000	57,343,151,210	100.00	210
うち高額医療費負担金	926,995,000	926,995,965	100.00	965
県支出金	19,484,652,000	19,484,653,068	100.00	1,068
うち療養給付費等負担金	18,508,887,000	18,508,887,103	100.00	103
うち高額医療費負担金	926,995,000	926,995,965	100.00	965
支払基金交付金	95,651,673,000	95,651,673,000	100.00	0
特別高額医療費 共同事業交付金	48,375,000	48,375,166	100.00	166
財産収入	8,215,000	8,214,416	99.99	△584
繰入金	2,566,712,000	2,491,168,498	97.06	△75,543,502
繰越金	101,921,000	101,921,554	100.00	554
諸収入	335,722,000	335,771,740	100.01	49,740
計	238,135,159,000	238,145,009,614	100.00	9,850,614

収入済額は2,381億4,500万9,614円でこの主なものは市町村支出金、国庫支出金、県支出金、支払基金交付金である。予算現額に対する収入歩合は100.00%で予算現額に対する増収の主なものは市町村支出金のうち保険料等負担金である。

保険料等負担金の内訳は次表のとおりである。

保険料等負担金内訳の状況

年度	保険料	延滞金	基盤安定分	計
	円	円	円	円
23	15,170,857,370	3,807,034	4,075,270,815	19,249,935,219
24	16,195,190,316	4,492,357	4,230,673,397	20,430,356,070

保険料等負担金は204億3,035万6,070円で、前年度に比べ11億8,042万851円の増加となっている。

保険料収入と被保険者数の状況は次表のとおりである。

保険料収入と被保険者数等の状況

年度	保険料収入 A	年間平均 被保険者数 B	1人当たり 保険料収入 $\frac{A}{B}$
	円	人	円
23	15,170,857,370	255,476	59,383
24	16,195,190,316	260,865	62,083

保険料収入は161億9,519万316円で、前年度に比べ10億2,433万2,946円の増加となっている。

年間平均被保険者数は26万865人で、前年度に比べ5,389人の増加となっている。

1人当たりの保険料収入は6万2,083円で、前年度に比べ2,700円増加している。

平成24年度は諸収入のうち返納金の収入未済額が55万707円生じている。これは医療費負担割合の相違等により、被保険者や医療機関から返還されるものである。事務の効率化を図り、収入未済額の解消に努められたい。

保険料等負担金については、市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。保険料については、14、15ページの表のとおり市町村における調定額163億8,801万3,347円に対し、収納額は161億8,384万5,163円となっている。収納率については現年分が99.38%で前年度に比べ0.03ポイント上昇、滞納繰越分が34.62%で前年度に比べ0.32ポイント上昇し、合計では98.61%で前年度に比べ0.14ポイント上昇している。不納欠損額については3,753万3,830円となっている。広域連合の保険料収入と市町村における収納額が異なるのは、広域連合への納付が翌月以降となるため、会計年度のずれにより生じるものである。

保険料の収納率向上は財政の健全化において極めて重要であり、不納欠損処分は被保険者の不公平感を生み出す要因でもあることから、収納対策実施計画に基づき、市町村と連携を図りながら、積極的かつ効果的な収納対策に取り組まれるよう要望する。

また、収納額の中には還付未済額が2,342万1,412円含まれており、前年度に比べ50万3,842円増加している。引き続き還付事務については、早期に還付が行えるよう、市町村と連携を図られたい。

【参考】 各市町村保険料収納状況

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 (A-(B-C))	収納率 (B-C)	不納欠損額
					D	A	
		円	円	円	円	%	円
岡山市	現年分	5,867,926,500	5,832,112,285	8,530,112	44,344,327	99.24	0
	滞納繰越分	82,795,363	26,666,706	58,600	56,187,257	32.13	16,259,151
	合計	5,950,721,863	5,858,778,991	8,588,712	100,531,584	98.31	16,259,151
倉敷市	現年分	3,713,775,000	3,693,448,500	2,327,800	22,654,300	99.38	0
	滞納繰越分	49,591,850	20,579,326	7,700	29,020,224	41.48	9,873,490
	合計	3,763,366,850	3,714,027,826	2,335,500	51,674,524	98.62	9,873,490
津山市	現年分	820,314,100	816,888,360	1,075,000	4,500,740	99.45	0
	滞納繰越分	9,918,655	3,461,734	7,300	6,464,221	34.82	914,000
	合計	830,232,755	820,350,094	1,082,300	10,964,961	98.67	914,000
玉野市	現年分	698,831,000	696,136,750	976,600	3,670,850	99.47	0
	滞納繰越分	7,356,550	1,581,700	0	5,774,850	21.50	3,382,900
	合計	706,187,550	697,718,450	976,600	9,445,700	98.66	3,382,900
笠岡市	現年分	492,042,100	490,032,300	708,300	2,718,100	99.44	0
	滞納繰越分	5,791,650	1,874,350	4,400	3,921,700	32.28	703,550
	合計	497,833,750	491,906,650	712,700	6,639,800	98.66	703,550
井原市	現年分	371,340,500	370,215,400	300	1,125,400	99.69	0
	滞納繰越分	1,634,650	671,707	0	962,943	41.09	105,500
	合計	372,975,150	370,887,107	300	2,088,343	99.44	105,500
総社市	現年分	521,529,500	519,460,650	2,207,600	4,276,450	99.18	0
	滞納繰越分	7,608,000	2,546,050	0	5,061,950	33.46	1,648,300
	合計	529,137,500	522,006,700	2,207,600	9,338,400	98.23	1,648,300
高梁市	現年分	329,632,700	328,816,400	598,400	1,414,700	99.57	0
	滞納繰越分	2,281,140	1,033,507	0	1,247,633	45.30	107,500
	合計	331,913,840	329,849,907	598,400	2,662,333	99.19	107,500
新見市	現年分	332,051,600	331,447,700	854,000	1,457,900	99.56	0
	滞納繰越分	2,923,500	936,600	9,300	1,996,200	31.71	0
	合計	334,975,100	332,384,300	863,300	3,454,100	98.96	0
備前市	現年分	379,094,900	377,492,850	480,700	2,082,750	99.45	0
	滞納繰越分	2,768,689	975,950	0	1,792,739	35.24	569,179
	合計	381,863,589	378,468,800	480,700	3,875,489	98.98	569,179
瀬戸内市	現年分	311,018,200	311,009,056	1,158,800	1,167,944	99.62	0
	滞納繰越分	2,669,656	1,091,800	0	1,577,856	40.89	437,900
	合計	313,687,856	312,100,856	1,158,800	2,745,800	99.12	437,900
赤磐市	現年分	364,683,000	364,889,400	1,716,900	1,510,500	99.58	0
	滞納繰越分	2,579,600	1,865,500	2,700	716,800	72.21	0
	合計	367,262,600	366,754,900	1,719,600	2,227,300	99.39	0
真庭市	現年分	396,631,900	395,843,800	318,200	1,106,300	99.72	0
	滞納繰越分	1,715,711	386,752	0	1,328,959	22.54	290,100
	合計	398,347,611	396,230,552	318,200	2,435,259	99.38	290,100
美作市	現年分	253,317,600	252,697,055	210,800	831,345	99.67	0
	滞納繰越分	1,895,840	285,920	0	1,609,920	15.08	183,760
	合計	255,213,440	252,982,975	210,800	2,441,265	99.04	183,760
浅口市	現年分	343,863,500	342,481,750	177,600	1,559,350	99.54	0
	滞納繰越分	3,109,800	993,150	0	2,116,650	31.93	944,500
	合計	346,973,300	343,474,900	177,600	3,676,000	98.94	944,500

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 (A-(B-C))	収納率 (B-C)	不納欠損額
					D	A	
和 気 町	現 年 分	152,667,100	152,306,700	1,179,100	1,539,500	98.99	0
	滞納繰越分	1,641,100	181,400	51,700	1,511,400	7.90	607,800
	合 計	154,308,200	152,488,100	1,230,800	3,050,900	98.02	607,800
早 島 町	現 年 分	104,690,400	103,440,800	800	1,250,400	98.80	0
	滞納繰越分	2,526,200	447,200	0	2,079,000	17.70	569,300
	合 計	107,216,600	103,888,000	800	3,329,400	96.89	569,300
里 庄 町	現 年 分	96,686,100	96,225,700	28,900	489,300	99.49	0
	滞納繰越分	1,051,900	733,900	0	318,000	69.76	15,600
	合 計	97,738,000	96,959,600	28,900	807,300	99.17	15,600
矢 掛 町	現 年 分	137,957,100	137,461,400	0	495,700	99.64	0
	滞納繰越分	370,750	119,765	0	250,985	32.30	17,500
	合 計	138,327,850	137,581,165	0	746,685	99.46	17,500
新 庄 村	現 年 分	6,963,700	6,963,700	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合 計	6,963,700	6,963,700	0	0	100.00	0
鏡 野 町	現 年 分	101,705,800	101,529,800	0	176,000	99.82	0
	滞納繰越分	2,200,800	452,500	0	1,748,300	20.56	868,600
	合 計	103,906,600	101,982,300	0	1,924,300	98.14	868,600
勝 央 町	現 年 分	78,058,000	77,548,100	62,700	572,600	99.26	0
	滞納繰越分	1,235,500	106,200	0	1,129,300	8.59	0
	合 計	79,293,500	77,654,300	62,700	1,701,900	97.85	0
奈 義 町	現 年 分	44,447,100	44,290,100	0	157,000	99.64	0
	滞納繰越分	239,600	136,900	0	102,700	57.13	0
	合 計	44,686,700	44,427,000	0	259,700	99.41	0
西 栗 倉 村	現 年 分	10,980,800	10,980,800	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合 計	10,980,800	10,980,800	0	0	100.00	0
久 米 南 町	現 年 分	44,999,400	44,984,400	0	15,000	99.96	0
	滞納繰越分	82,900	77,400	0	5,500	93.36	5,500
	合 計	45,082,300	45,061,800	0	20,500	99.95	5,500
美 咲 町	現 年 分	135,474,800	135,065,414	135,600	544,986	99.59	0
	滞納繰越分	938,043	325,676	0	612,367	34.71	29,700
	合 計	136,412,843	135,391,090	135,600	1,157,353	99.15	29,700
吉 備 中 央 町	現 年 分	81,870,900	82,253,800	531,500	148,600	99.81	0
	滞納繰越分	532,600	290,500	0	242,100	54.54	0
	合 計	82,403,500	82,544,300	531,500	390,700	99.52	0
合 計	現 年 分	16,192,553,300	16,116,022,970	23,279,712	99,810,042	99.38	0
	滞納繰越分	195,460,047	67,822,193	141,700	127,779,554	34.62	37,533,830
	合 計	16,388,013,347	16,183,845,163	23,421,412	227,589,596	98.61	37,533,830

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳出決算状況

区 分	24年度 A	23年度 B	増、減(△) C(A-B)
予算現額	238,135,159,000円	228,730,902,250円	9,404,256,750円
支出済額	238,054,871,766円	228,677,918,848円	9,376,952,918円
執行率	99.97%	99.98%	△0.01%
翌年度繰越額	継続費逡次繰越	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円
	計	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%
不用額	80,287,234円	52,983,402円	27,303,832円

予算現額 2,381 億 3,515 万 9,000 円に対し、支出済額は 2,380 億 5,487 万 1,766 円で、前年度に比べ 93 億 7,695 万 2,918 円の増加となっている。

予算現額に対する執行率は 99.97%となっている。

また、不用額は 8,028 万 7,234 円で、前年度に比べ 2,730 万 3,832 円の増加となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	予算現額 A	支出済額 B	執行率 $\frac{B}{A}$	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
	円	円	%	円	円
総務費	765,946,000	744,597,129	97.21	0	21,348,871
保険給付費	229,282,614,000	229,281,819,161	100.00	0	794,839
県財政安定化基金 拠出金	168,955,000	168,954,205	100.00	0	795
特別高額医療費 共同事業拠出金	55,770,000	55,769,469	100.00	0	531
保健事業費	144,681,000	133,532,000	92.29	0	11,149,000
基金積立金	6,738,397,000	6,698,466,271	99.41	0	39,930,729
諸支出金	978,296,000	971,733,531	99.33	0	6,562,469
うち被保険者還付金	25,000,000	18,613,100	74.45	0	6,386,900
うち国庫負担金等償還金	953,046,000	953,045,231	100.00	0	769
予備費	500,000	0	0.00	0	500,000
計	238,135,159,000	238,054,871,766	99.97	0	80,287,234

支出総額は2,380億5,487万1,766円で、この主なものは総務管理費、療養諸費、高額療養諸費、その他医療給付費、基金積立金、償還金及び還付加算金である。

予算現額2,381億3,515万9,000円に対する執行率は99.97%である。

不用額の主なものは、総務費の役務費、委託料、保健事業費の負担金補助及び交付金、基金積立金の積立金、諸支出金の償還金利子及び割引料などである。

保健事業については、被保険者の健康に対する意識づくりによる医療費適正化を図ることも重要であることから、健康診査の受診率のさらなる向上を目指すよう市町村との協力を引き続き要望する。

さらに、保険給付については、保険料滞納者に対しても高額療養費の給付が行われている。この滞納者に対する給付について、保険料への充当が平成22年度後半から開始されており、平成24年度は21件の申請があった。しかし、その活用は十分とは言い難いため、引き続き市町村と連携を図り、その活用を検討されたい。

療養諸費の状況は次表のとおりである。

療養諸費の状況

年度	療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	療養諸費 件数 C	一人当たり の療養諸費 $\frac{A}{B}$	一人当たりの 年間受診件数 $\frac{C}{B}$
	円	%	人	件	円	件
23	214,725,239,012	103.66	255,476	6,895,686	840,491	26.99
24	218,707,483,555	101.85	260,865	7,125,673	838,393	27.32

(注)「療養諸費額」は審査支払手数料を控除した額。

高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

高額療養諸費の状況

年度	高額療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	高額療養 諸費件数 C	一人当たり の高額療養諸費 $\frac{A}{B}$
	円	%	人	件	円
23	8,866,716,194	103.03	255,476	480,617	34,707
24	9,211,576,745	103.89	260,865	513,744	35,312

保健事業費の状況は次表のとおりである。

保健事業による健康診査の受診状況

年度	対象者数 A	受診者数 B	受診率 $\frac{B}{A}$	受診率の増減
	人	人	%	%
23	245,520	26,052	10.61	△ 0.03
24	245,073	25,935	10.58	△ 0.03

(注1)「対象者数」は4月1日現在の被保険者数から受診対象外者を引いた数。

(注2)「受診者数」は個別健診、集団健診の合計。

【参考】各市町村健診受診者数の状況

市町村名	被保険者数 (4月1日被保数)	対象者数	集団健診			個別健診			受診者数 合計	受診率
			課税	非課税	小計	課税	非課税	小計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	%	
1 岡山市	76,421	76,421	4	0	4	5,511	148	5,659	5,663	7.41
2 倉敷市	51,517	50,361	311	72	383	1,490	734	2,224	2,607	5.18
3 津山市	15,340	14,525	110	78	188	1,533	902	2,435	2,623	18.06
4 玉野市	9,951	9,951	48	4	52	1,089	115	1,204	1,256	12.62
5 笠岡市	9,240	9,240	520	211	731	57	19	76	807	8.73
6 井原市	8,118	7,750	525	285	810	339	243	582	1,392	17.96
7 総社市	8,321	7,859	41	0	41	146	0	146	187	2.38
8 高梁市	7,796	7,613	191	112	303	39	25	64	367	4.82
9 新見市	7,485	6,890	760	342	1,102	260	119	379	1,481	21.49
10 備前市	6,541	6,302	14	6	20	621	256	877	897	14.23
11 瀬戸内市	5,756	5,386	124	39	163	71	15	86	249	4.62
12 赤磐市	6,123	6,123	164	151	315	0	0	0	315	5.14
13 真庭市	10,167	9,466	0	0	0	1,816	767	2,583	2,583	27.29
14 美作市	6,801	6,801	776	518	1,294	0	0	0	1,294	19.03
15 浅口市	5,810	530	115	24	139	37	8	45	184	34.72
16 和気町	2,855	1,209	0	0	0	133	53	186	186	15.38
17 早島町	1,417	1,417	107	31	138	25	10	35	173	12.21
18 里庄町	1,513	1,399	243	64	307	0	0	0	307	21.94
19 矢掛町	2,979	2,732	136	21	157	0	0	0	157	5.75
20 新庄村	264	94	14	9	23	4	6	10	33	35.11
21 鏡野町	2,949	2,889	284	173	457	138	108	246	703	24.33
22 勝央町	1,831	1,831	150	178	328	0	0	0	328	17.91
23 奈義町	1,139	1,051	177	82	259	0	0	0	259	24.64
24 西粟倉村	364	364	123	57	180	0	0	0	180	49.45
25 久米南町	1,311	1,311	101	81	182	0	0	0	182	13.88
26 美咲町	3,469	2,595	457	264	721	0	0	0	721	27.78
27 吉備中央町	2,963	2,963	83	51	134	260	407	667	801	27.03
合計	258,441	245,073	5,578	2,853	8,431	13,569	3,935	17,504	25,935	10.58

4 財産に関する調書

平成24年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額100万円以上の物品は3点で、本年度中の異動はない。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は3基金48億2,007万6,058円で、前年度末より20億2,779万949円減少している。これは、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が58万2,849円増加し、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療制度臨時特例基金が15億3,208万7,752円、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金が4億9,628万6,046円減少したためである。

基金名	前年度末 現在高	決算年度 中増減	決算年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	23,628,904	582,849	24,211,753
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療制度臨時特例基金	3,526,266,272	△ 1,532,087,752	1,994,178,520
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	3,297,971,831	△ 496,286,046	2,801,685,785
「前年度末現在高」とは平成24年3月31日現在の数値。 「決算年度末現在高」とは平成25年3月31日現在の数値。			

5 むすび

平成24年度の決算審査の概要は以上のとおりである。

本年度の決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入2,382億614万6,010円、歳出2,381億1,413万3,959円となり、前年度に比べ歳入は93億6,819万637円、歳出は93億7,921万826円それぞれ増加している。これは、保険給付費の伸びによるものがほとんどである。

これを決算収支で見ると形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計187万4,203円、特別会計9,013万7,848円の黒字となっており、実質収支も同額の黒字となっている。また、前年度実質収支を控除した単年度収支においては、一般会計76万3,517円の黒字、特別会計1,178万3,706円の赤字となっている。

歳入については、予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計100.00%、特別会計100.00%となっている。また、調定額に対する割合は一般会計100.00%となっているが、特別会計は返納金の収入未済額が55万707円生じている。さらに、市町村においては保険料の収納率は98.61%となっており、現年分と滞納繰越分合わせて2億2,758万9,596円の収入未済額が生じている。

保険料の収納率が前年度に比べて0.14ポイント上昇していることは市町村の収納努力の結果である。財政の健全化と被保険者負担の公平のためにも、滞納者に対する給付充当の活用等、引き続き市町村と連携を図りながら一層努力されるよう要望する。

歳出については、前年度に比べ一般会計225万7,908円の増、特別会計93億7,695万2,918円の増となっている。一般会計については、増加した大部分が、管理的経費及び派遣職員の人件費負担金であり、その主なものは機器更改に伴う電算機器借上料及び派遣職員の異動による負担金である。特別会計については、96.31%が保険給付費であり、前年度に比べ43億7,514万5,549円増加している。

医療費は年々増加しており、このことは被保険者の負担増につながる事となる。医療費適正化のための施策として、本年度も昨年を引き続き、医療費通知の送付、ジェネリック医薬品についてのカードの配布等、被保険者への意識づけに努力されている。被保険者の医療に対する意識づけこそが、医療費適正化の第一歩であり、さらに啓発されることを望む。

併せて、レセプト点検委託業務においては、不正な請求や請求ミスをなくすよう、より一層厳格な事務を行うよう指導されるとともに、保健事業については、引き続き市町村と協力し、健康診査受診率がさらに向上するよう効果的な事業運営を心掛けていただきたい。

以上の点に留意し、医療費の適正化を図られたい。

後期高齢者医療制度の先行きは依然として不透明な状況であるが、引き続き被保険者の負担を増やさないう、国において行われている低所得者に対する保険料軽減などの一時的な措置の継続等、より安定的な運営が行われるよう、財源の確保について強く国へ要望を続けていただきたい。

また、今年度設置した懇話会を定期的開催し、被保険者や学識経験者等委員の皆さんからの意見を積極的に取り入れ、さらに国や他都道府県広域連合との意見交換の機会を積

極的に設けるなど、よりよい制度運営・発展に寄与されることを期待する。
そして、被保険者が安心して医療を受けられるよう今後とも努力されたい。